

点検・診断資格で登録規程案

資格公募は12月から

トンネル、港湾など10施設分野

国土交通省は、インフラ点検・診断の資格制度「公共工事に関する調査・設計及び設計等の品質確保に資する技術者登録規程案」をまとめ、21日から意見募集を始めた。登録の対象となる資格は、トンネル、港湾、砂防設備など10施設分野です。実績のある民間資格・橋梁は「鋼橋」と「コンクリート橋」に区分を分ける。国土交通省は提出される意見も踏まえ、登録規程を12月上旬に官報告示した上で、登録を希望する民間資格の公募を始める。学識経験者らによる第3者委員会が適格性を審査し、年明けに第1弾の登録資格を決める。

登録制度は、社会資本整備審議会・交通政策審議会の技術部会が8月にまとめた緊急提言に

よつ、資格制度の確立を図る。登録規程案では、登録する資格の対象を▽公園施設(遊具)▽砂防設備▽地すべり防止施設▽急傾斜地崩壊防止施設▽海岸堤防▽橋梁(鋼橋)▽同(コンクリート橋)▽トンネル▽港湾施設▽空港施設の10施設分野とした。技術部会の緊急提言で示された下水道の「管路施設」と河川の「堤防・河道」は、維持・修繕などに関する技術基準を検討中であることなどを理由に、今回の登録規程には盛り込まない。

また、資格の登録要件としてはこれに加え、資格試験が1回以上実施された実績があること、資格試験を継続的に実施すること、試験問題の作成と合格者判定を学識者(大学教授、准教授など)が担っていること、合格者に対する技術の維持向上のための措置(講習会の開催など)など、九つの条件を定め、すべての条件を満たすことを求めている。登録する資格には、5年ごとの更新を求める。登録の要件に適合しない資格試験の運営者に対し、国土交通省は是正を勧告したり、登録の取り消しなどを行うこともできる。

さらに、10施設分野で、点検・診断などを発注する際の標準的な発注単位である17業務を定めた上で、各業務における管理技術者・担当技術者に求められる知識・技術を明らかにする。



上門 千恵さん
制作管理部業務主任
——仕事内容は、ネームプレートなど小さな物から屋上広告塔など建築工事に関わる大きな物まで、かかるとは同じです。なので、工程に関する業務を部長と一緒に任せています。男女の区別なく仕事ができ、楽しくてやりがいのある毎日です。

あのことこの人
——趣味は、読書です。特に戦国時代の歴史小説にはまっています。

——今後の目標は、後輩へのアドバイスを送りたいです。伝え方が難しく、いまだ模索中です。特に、同僚と相談しながらみんなで協力する大切さや、お客様に喜んでもらえることの楽しさを教えていきたいですね。

(鹿児島市)

秋期経営セミナー 来月5日まで受付

藤元勝税理士事務所(藤元勝所長)は11月18日午後3時から、鹿児島市のホテル・レクストン鹿児島で第25回秋期経営セミナーを開く。参加費無料。申し込みは11月5日までファクスで受け付ける。

第1部では、藤元所長が「知って得る税金の話」と題して講話。また、特別講師に(株)E VENTOSの創業者である川中英章氏を迎え、「新卒求人へ進化、

◆土木学会選奨土木遺産 土木学会は21日、2014年度選奨土木遺産に九州から湯野田橋(佐賀県嬉野市)と細島駿潮場(宮崎県日向市)を選定した。湯野田橋は国道34号にある1888年建造の現役で、日本最古の石アーチ橋。細島駿潮場は明治期に設置された現存する日本最古かつ現役の駿潮場で、世紀を超えて地道な潮位観測に貢献している。

同認定制度は、土木遺産の顕彰を通じ歴史的土木構造物の保存に資することを目的として2000年度に創設。幕末から昭和20年までの近代土木遺産を対象とし、13年度までに全国で280件、九州で34件が認定された。

(株)ロスファイ(保照光社長)が開発した「フラクタルひよけ」が、モノづくり日本会議主催の2014超モノづくり部品大賞の「環境関連部品賞」に選ばれた。11月27日、東京都のザ・プリンスタワー東京で授賞式が行われる。

フラクタルひよけ



同部品大賞は日本のモノづくりに対し、産業・社会・生活の発展に貢献することを目的に創設。フラクタルひよけは、国内外でも類を見ない独創的なデザインと持続可

能な機能性が特長。人工的な繊維で小さな葉をフラクタル分布させることで、樹木に近い遮熱効果を実現したほか、人工物のため軽量で、形状の自由度が高くメンテナンスも簡単にできる。また、動力機器を使わずに建築設計を工夫することで、樹木の葉のように光をさえぎり、風を良く通すなど、木漏れ日のような快適さを醸し出し

ている。フラクタルひよけによる木漏れ日の演出は、国土交通大臣賞を受賞した名古屋市の東山動物園のアジアゾウ舎運動場整備「写真」に貢献するなど注目を集めている。今回の受賞について同社の保照光氏は「ファブレス企業でも、ものづくりで評価され大変光栄」と話し、「屋外を楽しんでもらえるよう、東京オリンピックなど世界に向けてアピールしていきたい」と意欲を語った。

鹿児島県建設 活用推進ワークショップ

28日、2回目開催

鹿児島県建設 活用推進ワークショップ

は28日午後6時30分から、鹿児島市のアーバンポートホテル2階のピコットホールで第2回会合が開かれる。「イベント広場で行うイベントを考えよう」をテーマに、将来の目玉プロジェクトの提案に向けたワークショップが行われる。

ワークショップは、パシフィックコンサルタンツ(株)が運営、2015年3月までに近隣住民ら約40人が参加し、平日の夜間4回程度を開催。JR鹿児島駅に隣接する同市浜町の旧国鉄用地に整備する屋根付きイベント広場や屋外イベント広場等の活用推進策や安心安全な活用ルールづくり等を行う。

施設は14年度中に基本・実施設計が行われ、15年度に工事を進め16年度の供用開始を目指す。

おくやみ

おくやみ情報をお寄せください

新聞掲載は無料です。毎週火曜日から土曜日(夏季・年末年始休暇および祝祭日の翌日を除く)に掲載します。会社の代表者ならびに社員にかかわらずどなたでも構いません。親族、身内の方もご相談ください。

お問い合わせ
099-227-5100